



## 社協との懇談会を行いました！

3月6日(金) 19:00～21:00

あしすと3階 講習室にて

第3回代表者会議で、4月からの社協による運営がどうなるのか、特に指導員の不足の問題とおやつ代の集金の問題が取り上げられ、「社協から直接説明してもらいたい」という要望が多かったため、懇談会を設定しました。

あいにく平日の日程しか取れなかったのですが、5クラブの父母会代表者の方々が参加してくださり、具体的に4月からの運営方法について話し合う事ができました。

### 指導員不足に対する対応

15名もの指導員が不足している事態でしたが、募集活動と2回の試験、更には定年退職者の慰留により指導員を確保し、現状はあと3名の不足。引き続き募集は続けるとの事。

万一4月に間に合わなかった場合は、一時的に臨時職員(パート)の加配でカバーする。

### おやつ代の集金について

現在の旧庄和でのやり方では、指導員が自由におやつを工夫する事ができない。また実際に春日部全域で引き落としを実施したら、事務処理作業が追いつかない事が明らかになりました。このまま社協に集金管理を依頼すれば、指導員の負担が増えそうです。

議事録は各クラブに配布しています。ホームページからもダウンロードできますのでご覧ください。

## 埼玉県の2009年度予算 大規模クラブ分割整備に補助

2月16日に発表された、埼玉県少子政策課の予算によると、大規模分割などの施設整備費に、従来は認められていなかった「単独施設の改修による整備」に対して単価700万円の補助(想定数40クラブ)が盛り込まれました。

厚生労働省の方針により、平成22年度からは、定員71名以上のクラブについては補助が打ち切られる事になっています。それまでに、71名以上の大規模クラブについては分割を行う事が必要となります。

春日部市(保育課)は、「3年生までで70名以内のクラブについては分割せず、定員を70名に変更する(2008年12月、予算要望交渉で)」と言っていましたが、2009年2月20日には電話での質問に対し「プレハブ施設で71名以上のクラブは全て分割する」と方針を変えています。県の補助金の追加決定が影響していることが考えられます。

県の積極的な財政補助の背景には、埼玉県学童保育連絡協議会(県連協)の活発な働きかけがあります。利用者が連携して、組織的に行政に訴え続けることが、保育環境の改善にとって極めて大切であることがわかります。

春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会

ホームページ <http://gakudou.kids.coocan.jp/>

事務局 090-3312-5682 kadoi@ltj.co.jp 土井